

追悼 田辺 信介 先生

令和7年6月30日に愛媛大学特別栄誉教授 田辺 信介先生が永眠されました。謹んで哀悼の意を表し、心よりお悔やみ申し上げます。

田辺先生は、愛媛大学農学部を1973年3月にご卒業、1975年3月同大学大学院農学研究科修士課程を修了され、1985年2月に名古屋大学から農学博士の学位を授与されました。1977年9月に愛媛大学農学部助手として着任されて以来、1996年10月愛媛大学農学部教授、1999年4月愛媛大学沿岸環境科学研究センター（CMES）教授、そして2015年4月から同センター長を務められました。その間、環境化学を専門とする先端研究と大学教育・行政指導に永年貢献され、わが国の学術・文化の振興に多大な功績を残されました。

先生は化学物質汚染に関する先駆的な研究を精力的に推進してこられました。当時まだ黎明期であった環境化学分野をいち早く開拓し、世界をリードされたことは特筆すべき功績です。なかでも、残留性有機汚染物質（POPs）や重金属の汚染源は先進国だけでなく途上国にも存在し、その汚染は極域にまで拡大していること、海棲哺乳動物はPOPsを高濃度に蓄積する一方、陸棲哺乳動物はそれらの代謝物を高蓄積していること、さらには生物や環境の保存試料を活用して過去の化学汚染を復元し、外洋汚染の長期化を予測したことなど、数多くの新しい知見を提示されました。これら化学汚染モニタリングの学術情報を地球規模で蓄積するとともに、その成果を論文や講演、啓蒙誌やマスメディア等を通して国内外に発信され、国際機関および各国の行政施策と環境改善に資する基礎情報を提供されました。その成果は、著書（単著＋共著）177編、原著・総説論文604編、報告書等論文567編として発表され、SETAC（北米環境毒性学化学会）Founders Award など6件の国際賞に加え、多数の国内賞を受賞するなど、国内外で非常に高い評価を得てこられました。これらの功績は紫綬褒章の受章に繋がり、愛媛大学特別栄誉教授の称号も授与されました。

また、先生の長年の研究が高く評価され、2005年度には文部科学省の補助金を得て、愛媛大学に生物環境試料バンク施設（es-BANK）の設置を実現されました。さらに、研究リーダーとして多くの人望を集め、文部科学省21世紀COEプログラム「沿岸環境科学研究拠点」の拠点長（平成14～18年度）、文部科学省グローバルCOEプログラム「化学物質の環境科学教育研究拠点」の拠点長（平成19～23年度）、文部科学省卓越した大学院拠点形成「化学物質の環境科学教育研究拠点」の実施責任者（平成24年度）、愛媛大学沿岸環境科学研究センターのセンター長（平成27年～令和元年度）など数々の要職を務められました。

こうした傑出した業績に加え、先生の偉大さは、研究に対して真摯に向き合うお姿と、次世代の若手研究者を育てることに注がれた情熱にもありました。先生のご指導のもと、111名の学士、114名の修士、53名の博士（内外国人留学生35名）が輩出されました。先生から学ばなければならぬことがまだ山積する中で、このような形でお別れしたことは痛恨の極みです。先生がCMESの化学汚染・毒性解析分野（岩田研究室・国末研究室）に残された有形無形の学術的資産は、我々が必ず成長・発展させてまいります。天界より安らかにお見守りください。

令和7年8月19日

愛媛大学教授
岩田 久人
国末 達也

田辺 信介先生ご略歴

生年：昭和26年（1951年）2月21日（大分県別府市生まれ）

享年：74歳

（学歴）

昭和44年 3月 大分県立別府鶴見丘高等学校卒業

昭和48年 3月 愛媛大学農学部農芸化学科卒業

昭和50年 3月 愛媛大学大学院農学研究科農芸化学専攻修士課程修了

昭和60年 2月 農学博士（名古屋大学）

学位論文「海洋環境におけるPCBの分布と挙動に関する地球化学的研究」

（職歴）

昭和52年 9月 愛媛大学農学部環境保全学科助手

昭和63年 3月 文部省在外研究員（アメリカ合衆国テキサス農工大学）

昭和63年 12月 愛媛大学農学部生物資源学科助教授

平成8年 10月 愛媛大学農学部生物資源学科教授

平成11年 4月 愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授

平成24年 1月 愛媛大学特別栄誉教授

平成27年 4月 愛媛大学沿岸環境科学研究センター・センター長

（受賞歴）

昭和60年 2月 日本海洋学会岡田賞

平成11年 3月 日産科学賞

平成12年 10月 ISI論文引用最高栄誉賞（環境化学分野）

平成15年 12月 ベトナム政府フレンドシップメダル

平成16年 7月 日本環境化学会学術賞

平成16年 10月 日本環境科学会学術賞

平成17年 11月 SETAC（北米環境毒性学化学会）Founders Award 国際賞

平成18年 6月 日本環境化学会論文賞

平成19年 11月 Excellence in Review Award for Environmental Science & Technology (American Chemical Society)

平成19年 11月 SETAC/Menzie-Cura Educational Award 国際賞

平成21年 11月 日本学術振興会科学研究費補助金第一段審査貢献表彰

平成22年 6月 Marine Pollution Bulletin Highly Cited Author Award 2005-2009

平成23年 4月 紫綬褒章

平成24年 1月 愛媛大学特別栄誉教授称号授与

平成27年 2月 Fellow of the Society of Environmental Toxicology and Chemistry Award

平成27年 4月 愛媛大学理学部ベストレクチャー賞

平成27年 5月 廃棄物資源循環学会 Best Paper Award

平成27年 6月 日本環境化学会第24回環境化学功績賞

その他

平成14年 7月 文部科学省21世紀COEプログラム「沿岸環境科学研究拠点」拠点リーダー（平成19年3月まで）

平成19年 7月 文部科学省グローバルCOEプログラム「化学物質の環境科学教育研究拠点」拠点リーダー（平成24年3月まで）

平成24年 4月 文部科学省卓越した大学院拠点形成「化学物質の環境科学教育研究拠点」実施責任者（平成25年3月まで）

